

平成29年度 事業計画

自己改革を着実に実践

今年度はJA広域合併10年の節目を迎えます。今日まで積み上げてきた成果を生かし、組合員の営農・生活の安定と豊かでくらしやすい地域社会の実現に向け、相互扶助の精神のもと、JAがその役割を發揮するために全力を尽くして取り組みます。

平成29年度は、昨年度、第3次中期経営計画(平成28年度～平成30年度)で掲げた「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「地域の活性化・協同活動の活性化」「結びつき強化・経営基盤強化」を基本目標として、地域に軸足を置いた組織運営で自己改革を着実に実践します。

平成30年度販売額250億円

安全・安心な農畜産物を持続的・安定的に供給するための基盤である地域農業を守り発展させるために、水田フル活用による複合経営を推進します。

また、一億円販売園芸団地や第二次アスパラガス作付倍増運動の継続

的な取り組みをはじめ、ブランド銘柄の確立に向けた「銀河のしずく」の作付面積の拡大を生産振興の柱とし、あわせて担い手経営体への経営支援を行います。

地域を支えるくらしの活動

信用・共済をはじめとした総合事業の展開で、生活インフラの一翼を担って地域を支えるとともに、工事着工しているデイサービスセンターやグループホームを開所し、高齢者福祉サービスの充実を図ります。

また、支店協同活動などを中心としたくらしの活動を通じ、地域コミュニティの維持・活性化に取り組みます。

結びつき・組織基盤の強化

組織・経営分野については、地域の歴史的伝統文化を背景とした支店行動計画の実践により、組合員・地域住民との結びつきを深めながら組織基盤の強化を図ります。

また、地域農業および協同組合への理解醸成を図るため幅広く情報を発信します。「地域から自慢されるJA」、職員が自慢できるJA」を目指し、職員の育成と、財務基盤および内部統制の強化に継続して取り組みます。

営農事業

JAの自己改革取組事項を踏まえ「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を最重要目標として、継続的に取り組みます。

1. 地域生産力を生かした取り組み
2. 担い手の育成と農地の集積による営農振興
3. 販売・指導体制の構築
4. 生産コストの低減ならびに生産労働力の軽減
5. 安全・安心な農畜産物生産と消費者への発信
6. 鳥獣被害対策

営農振興 集落ビジョンの見直しと経営支援

- ・集落ビジョンの見直しによる地域コミュニティ維持への支援
- ・農用地の利用調整への支援や経営所得安定対策を推進、担い手経営体の要望に応える支援強化
- ・販売・指導体制の構築と情報提供サービスの展開
- ・安全・安心な農畜産物の提供と地産地消活動

米 穀 水田フル活用の構築

- ・「銀河のしずく」食味ランキング特A評価の獲得とブランド力の強化
- ・多収栽培の取り組みと複数年契約による農業者の所得増大、米集荷200万袋運動による消費地から求められる米産地の確立
- ・除草剤の散布条件・方法などの情報提供や技術指導の徹底、天候に左右されない稲作りとJA米の品質向上・維持に向けた投入資材の推進
- ・小麦・大豆・雑穀の反収向上

園 芸 一億円販売園芸団地の推進

- ・地域別重点品目の生産拡大・反収向上、高齢者や女性向け軽労力品目の普及拡大

畜 産 生産基盤体制の整備

- ・ブランド力の維持や生産販売の拡大
- ・園芸生産の拡大に向けた水田農業と園芸品目の複合経営による「一億円販売園芸団地」の推進
- ・「第二次アスパラガス作付倍増運動」と県内一の産地として品質・反収向上によるブランド化
- ・果樹産地構造改革計画に基づく果樹の優良品種・系統への改植による産地の維持・強化
- ・花き主要品目の各地域産地拡大実践プランによる生産拡大とカンパニウラの生産拡大
- ・原木椎茸の出荷制限解除と菌床椎茸の生産拡大

生産資材 コスト低減・労力軽減

- ・水稻肥料愛農シリーズの見直し
- ・各種奨励対策の継続とBB肥料大規模農家対策による生産者支援
- ・担い手サポート事業の活用によるコスト低減
- ・いもち防除剤の適期防除の啓蒙
- ・作業省力型農業、大型規格農業の普及拡大

産 直 事業拡大と生産・出荷体制の構築

- ・JA産直4店舗を核とした事業の拡大と周年出荷体制の構築、栽培面積の拡大と多種・多様な生産による組合員の所得増大
- ・支店・関係部署との連携による後継者育成と、高齢者会員に対応した集荷業務の構築
- ・食の提案と6次産業化事業の活性化

生活福祉事業

「食と農を基軸とした豊かでくらしやすい地域社会の実現」を目指し、くらしの活動の強化に向けて、子ども・女性・高齢者はもちろん組合員・地域住民の参加・参画を図り、魅力ある活動の提案と地域の活性化に取り組みます。また、高齢者支援の新たな展開に対応しながら安全・安心な福祉・介護のサービス提供と、健康づくりや生きがいづくりの支援活動に取り組みます。

1. くらしの活動を強化する魅力ある活動の提案
2. 安心してくらしを地域社会への貢献

信用事業

地域への貢献を通じて、これまで以上に組合員のくらしに寄り添い、「安全・安心かつ有利」の理念を基本として、利用者皆様の支持を獲得・拡大し、将来にわたって地域に根ざしたJAとして充実した金融サービスを提供します。

1. 農業メインバンク機能の強化
2. 生活メインバンク機能の強化
3. 資金運用
4. コンプライアンス態勢の徹底
5. 東日本大震災復興支援対策

共済事業

「組合員・利用者のために」をモットーに、対話を大切にしながら既加入者の全戸訪問を展開し、一人ひとりのライフプランやニーズにあわせて安心と満足、信頼関係を高めめます。また、未加入者への取り組み強化と、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提案に取り組みます。

1. 総合保障の提供と加入内容説明による保障点検の強化
2. 共済渉外活動を中心とした次世代層・ニューパー
3. トナー拡大と対応力強化
3. コンプライアンス態勢の徹底

企画管理

第3次中期経営計画で掲げた農業・くらし・経営・組織の分野の基本目標の達成に向け、引き続き自己改革の実践に邁進し、魅力増す農業・農村の実現に向けて取り組みます。また、支店を中心としたくらしの活動などの展開により、組合員の「我がJA」意識の向上と地域に信頼されるJAを目指します。

1. 支店を中心としたJA運営の実践
2. 協同活動の活性化と交流拡大
3. 地域農業および協同組合への理解醸成
4. 経営管理の徹底による財務基盤強化
5. 組合員の期待に応える職員の育成
6. 宅地等開発計画

リスク管理

組合員および利用者のニーズに的確に応える事業を展開し、コンプライアンス・プログラムの実践と業務の有効性・効率性を重視したリスク管理および内部統制の充実を図ります。

1. コンプライアンス・プログラムの実践
2. リスク管理態勢の強化

監査

内部管理態勢の強化に取り組み、健全な経営と透明性の高い信頼される組織風土を作ります。

1. 内部監査の充実・強化
2. 監事監査・外部監査との連携強化
3. 内部統制の整備・充実